

長岡工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	中国語	
科目基礎情報							
科目番号	0169			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子システム工学科			対象学年	5		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	『速問即答中国語入門編』朝日出版社						
担当教員	張 素娟						
到達目標							
この科目は長岡高専の学習・教育目標の(B)と主体的に関わる。中国語の基本的な文法項目と簡単な日常会話を身につけ、個人の日中交流の基礎を作る。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
中国語の発音記号である「ピンイン」を習得する。		中国語の発音記号である「ピンイン」を十分に習得している。		中国語の発音記号である「ピンイン」を習得している。		中国語の発音記号である「ピンイン」を十分に習得していない。	
中国語簡体字の読み書きが出来る。		中国語簡体字の読み書きが十分に出来る。		中国語簡体字の読み書きが出来る。		中国語簡体字の読み書きが出来ていない。	
基本的な文法項目と簡単な日常会話を習得する。		基本的な文法項目と簡単な日常会話が十分に習得できている。		基本的な文法項目と簡単な日常会話が習得できている。		基本的な文法項目と簡単な日常会話が習得できていない。	
辞書を引きながら簡単な中国ニュースが読むことが出来る。		辞書を引きながら簡単な中国ニュースが読むことが十分に出来る。		辞書を引きながら簡単な中国ニュースが読むことが出来る。		辞書を引きながら簡単な中国ニュースが読むことが出来ていない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達目標 b1							
教育方法等							
概要		中国は、近年、産業・経済各方面において著しい成長が見られる。日本に近いようで遠い中国を知るには、この授業はその第一歩である。中国語の基本的な文法項目と簡単な日常会話を身につけ、個人の日中交流の基礎を作る。授業中、適宜に中国の文化と社会事情も紹介する。					
授業の進め方・方法							
注意点		語学の習得は、「聞く・話す・読む・書く」ことの積み重ねであり、予習と復習は不可欠である。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	発音1				
		2週	発音2				
		3週	発音3				
		4週	発音4				
		5週	発音5				
		6週	発音6				
		7週	発音7				
		8週	発音総合練習1				
	2ndQ	9週	発音総合練習2				
		10週	第1課				
		11週	第2課				
		12週	第3課				
		13週	中国ビデオ鑑賞				
		14週	復習				
		15週	期末試験				
		16週	試験解説と発展授業				
後期	3rdQ	1週	第4課				
		2週	第5課				
		3週	第6課				
		4週	第7課				
		5週	第8課				
		6週	第9課				
		7週	第10課				
		8週	第11課				
	4thQ	9週	第12課				
		10週	第13課				
		11週	第14課				
		12週	第15課				
		13週	中国ビデオ鑑賞				
		14週	復習				
		15週	期末試験				
		16週	試験解説と発展授業				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,前16,後 1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,前16,後 1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,前16,後 1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,前16,後 1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後10,後 11,後12,後 13,後14,後 15,後16

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0